

「スーパーシティ」構想について

「スーパーシティ」構想について

- 世界では、AI及びビッグデータを活用し、**社会の在り方を根本から変える**ような都市設計の動きが急速に進展
- こうした動きを背景に、10月23日の国家戦略特区諮問会議において、安倍総理から、**第四次産業革命を体現する世界最先端都市を先行実施する「スーパーシティ」構想について基本的なコンセプトを早急にとりまとめるよう指示**
- ゴール逆算型のアプローチ、ビッグデータの分野横断的な活用、スピード感と機動力**といった視点を考慮しつつ、**国家戦略特区制度を活用し、世界最先端の実装ができる場を我が国内に設ける**など、「スーパーシティ」構想を実現

カナダ・トロント市の事例

- Google系列会社が行政と連携し、ありとあらゆる場所、ヒト・モノの動きをセンサーで把握し、ビッグデータを活用した都市設計が進行中

○モビリティに関する構想

- ・信号が絶えず、自転車、車の動きを追跡
- ・公共の自動運転車、用途に応じて変化する道路



○建物・インフラに関する構想

- ・モジュール化されたパーツを組合せ、車を組立てるように建築
- ・共同溝の物流網化や公益サービス用の地下道ネットワーク



中国・杭州市の事例

- アリババ系列会社が行政と連携し、交通違反や渋滞対策にカメラ映像のAI分析を活用。ベンチャーによる無人コンビニも展開中

○交通違反や渋滞対策にAI分析を活用

- ・道路ライブカメラ映像をAIが自動で収集し、異常を認めた場合に警察へ自動通報（多い日で500件）
- ・交通状況に応じ信号機の点滅を自動で切替え、一部地域で自動車走行速度が15%上昇



○無人コンビニの展開

- ・スマホアプリも必要としない顔認証でのキャッシュレス支払いが可能



国家戦略特区制度を活用しつつ
住民と競争力のある事業者が協力し、
世界最先端の日本型スーパーシティを構想

「スーパーシティ」の実装技術（イメージ）

全ての行政手続を、
個人端末で効率的に処理。

エネルギー、上下水、リサイクル
などをコミュニティ内で最適管理。

全てキャッシュレス。
エリア内は現金不要。



ビッグデータ解析

AIの活用

全ての医療・介護を
かかりつけから在宅で。

全ての住民・子どもに
世界最先端の教育環境を。

いつでもどこでも必要な
移動・配送サービスを提供。



キャッシュレス

ランチから買い物まで
すべてキャッシュレス。
お得なポイントも
顔認証などで一括処理。
家計簿管理も、楽々。



自動走行・自動配送

いつでも、どこでも、
自動走行車両がご案内。
必要な時に必要なものを
即時にお届け。
宅配ボックスはもう不要。

自動ゴミ収集

曜日を問わずゴミ出し。
センサーで満杯を感知し自動収集。